



店内には多くの完成車が並ぶ

国内有数の観光地である沖縄県は、サイクリングのメッカでもある。さらにロードレースでは「ツールド沖縄」、トライアスロンでは「宮古島トライアスロン」と、大きな大会の舞台にもなっておりサイクルスポーツのイメージも強い。そんな沖縄を走る県内外のサイクリストたちの安全・安心を支えているのが沖縄輪業。南風原町にある総合店舗の他、那覇市内にも2店舗を展開しており、仲松さんはスポーツ専門の前島店に勤務する。同店はスポーツバイク販売の他、地域の自転車イベントでもメカニックサポートの役目を担っており、地域の自転車文化発展という意味においても重要な存在だといえる。



店内にある SBA PLUS 認定証

SBA PLUS という制度ができたことを聞いた仲松さんは、もう1人のスタッフとともにすぐに取得へと動いた。その理由は勿論、それが全国から訪れるサイクリストたちにプロショップとしての安心感を与える1つの証になるからだ。そしてもう1つが、認定を受ければブラッシュアップ講習他の自転車協会の取り組みに参加することができ、新しい様々な知識を得ることができるから。それをお客さんに

ブラッシュアップ講習で見た Eバイクの可能性

「道路交通事情等、今はほとんどブラッシュアップされている。お客さんと話をする際、我々はそれをきちんと伝えなければならぬ。その上で自転車を楽しんでほしい」。仲松さんの話によれば、沖縄では地元の自転車愛好家や県外から訪れるサイクリストだけでなく、最近では高校生にまでロードバイクのニーズが広がっているとのこと。本格的な競技志向からカジュアルにサイクリングを楽しみたいという人まで、幅広い層に対する知識は確かに必要だ。

同店では地域主催の大きなイベントの他に、自ら主催する月例サイクリングイベントも毎回コースを変え行なっている。そんな際でも、参加者にとってSBA PLUS資格を持つスタッフに同行してもらえるのは大きな安心材料だといえる。

SBA PLUSでは特にブラッシュアップ講習を重視している仲松さんだが、沖縄という地域であるがゆえに参加するのは大変な作業。コロナ禍となったことで自転車協会がリモートで開催する配慮をしてくれたことには大いに感謝しているそうだ。ちなみに、これまでで最も役に立ったと感じているのが数年前に開催されたEバイクに

いたタイミングだったのだ。

一時は他の地域よりも新型コロナウイルス感染が広がり大きな打撃を受けた沖縄だが、ようやく落ち着きを見せ始め、サイクリストの数は徐々に元に戻りつつあるようだ。イベントもこれから復活すると見込める今、仲松さんが求めているのはやはり自転車に関する新たな知識。自転車協会にも「ブラッシュアップ講習の内容は毎回異なっていて、タイミング良くその時期に最も重要な知識を得ることができている。今は自転車市場も自転車環境も変化の流れが早いので、もっと講習の回数を増やして様々なことを教えてほしい」と要望する。これからまた、新しいお客さんが店舗を訪れ、イベント会場で新しい参加者と接することになる。そんな人たちに、より安全・安心に自転車を楽しんでほしいと願っているからだ。

- ▽住所…沖縄県那覇市前島2-3-4
- ▽TEL…098-868-0404
- ▽営業時間…13時～20時
- ▽定休日…木曜日
- ▽沖縄県最大の自転車専門店、沖縄輪業(株)は一般車、スポーツ車、電動アシスト車、キッズ車をラインナップする総合店舗「南風原店」の他、スポーツバイク専門の那覇市「前島店」、スポーツバイクレンタル専門店「前島2号館」を展開。地域レース、イベントのメンテナンスサポートやサイクリングイベント主催等も積極的に行なっている。

一般社団法人 自転車協会

SBAA PLUSで得たものをお客さんに還元できることが大きな価値

(一社)自転車協会が展開するスポーツバイクを取り扱うスタッフの認定資格「SBAA PLUS」。全国 801 名の SBAA PLUS 認定者は果たして、そこにどんな価値を見出し、ユーザーの安全・安心にどう役立っているのか。今回は沖縄県那覇市にある「沖縄輪業前島店」のスタッフ、仲松太郎さんに話を伺った。



沖縄輪業 前島店



仲松太郎さん